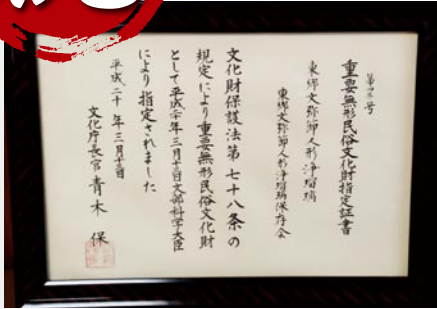


# 祝

## 国の重要無形民俗文化財に指定されました。



文化庁から交付された指定証書



3月に行われた特別上演会より



保存会会長の木場岩利さん(80歳)

東郷町斧淵地区に17世紀末から300年以上続く人形芝居「東郷文弥節人形浄瑠璃」が、3月13日(木)、文部科学大臣により国の重要無形民俗文化財に指定されました。



気持ちいい汗をかきました

3月2日(日)、鹿島町で、170人が参加して、つばきマラソン大会が開催され、春の心地よい気候を感じながら各コースを走ったり、歩いたりして楽しみました。ゴールした後は、豚汁やおにぎりなどが振る舞われ、心も体も春を満喫しました。



笑顔に包まれた快晴の春の日

五穀豊穡<sup>ほうじょう</sup>などを願う伝統芸能が3月2日(日)、高江町の南方神社で太郎太郎踊り(写真)が、久見崎町の諏訪神社と水引町の射勝神社で次郎次郎踊りが奉納されました。いずれも農作業が題材の寸劇で、観客からは大きな笑いが起きていました。



地元の食と文化が集結

3月15(土)・16日(日)の2日間、川内駅西口駅前広場や国道3号太平橋通りなどを会場に、きやんせふるさとフェスタが開催されました。駅前や国道沿いのステージでは、奄美の島唄や太鼓、大道芸などが披露され観衆を魅了していました。



春風を感じながら自分のペースで

3月16日(日)、約1,000人が参加して、川内川河口マラソン・ウォーキング大会が開催されました。ウォーキングの部では、子どもと手をつないで参加する家族も多く見られ、春の心地よい風を楽しみながら歩いていました。